

## 第4学年 総合的な学習の時間 学習指導案

指導者 千早赤阪村立赤阪小学校 石川 佳則

### 研究主題

「意図を深く汲み取りながら思考し判断し表現する力を養い

粘り強くチャレンジし続ける態度の育成」

※今年度の重点目標に\_\_\_\_\_を引いています。

1. 学年・組 千早赤阪村立赤阪小学校 第4学年1組（8名）

2. 単元名 「みんなの命を守るために防災のことを知ろう！」  
～防災祭りの準備をしよう！～

### 3. 単元目標

防災について必要な情報を収集・整理・まとめる活動を通して、身の回りにある自然災害の危険を知り、自分たちにできる防災や減災の取り組みについて主体的・協働的に考えるとともに、それらを多くの人に伝え、生活に生かそうとする態度を養う。

### 4. 単元の評価規準

知識及び技能	思考・判断・表現	主体的に学習取り組む態度
① 自然災害や防災についての学習を通して、村の危険個所や備えを知り、防災や減災意識の大切さを理解している。	① 防災の大切さを伝えるにあたり、「誰に」「何を」「どうやって」「何のために」の視点をもって計画をたてる。	① これまでの学習や活動から得た知識や友達の考えを生かしながら、協働して粘り強く取り組もうとする。
② 他教科で学習したことや調べ学習の中で得た情報を適切に選択して使うことができる。	② 準備を進めるために最適な方法で必要な情報を収集する。	② 探究活動の中で多様な人々のつながりや様々な意見を尊重し、互いの良さを生かしながら自らの学習を調整しようとする。
③ 防災を広めるにあたって、協働的・探究的に取り組むことによって、自分の生き方についても考えられる良さを理解する。	③ 収集した情報を比較・分類・関連付けするなど整理・分析する。	③ 防災の重要性を再確認し、自分たちができることを考え、社会や他者とのつながりの中で役立て実践しようとする。
	④ 他教科の学習を活かしたり、組み合わせたりして目的や意図、伝える相手に応じて自分の考えが伝わるよう効果的に表現する。	

## 5. 単元設定の理由

本学級の児童は、自然や学校、家族や友達が好きで生き生きと学校に通う子どもたちである。授業に対しても意欲的で、必ず次の授業の用意をしてから休み時間を過ごしたり、毎時間振り返りを書いたりする習慣も身についている。また、大好きな家族や友達が住んでいる自然豊かなこの千早赤阪村に対し、ひと際大切に思う気持ちが発言の節々から感じられる。それらの思いはこれからの成長の過程で自己形成の柱となり、郷土愛へと繋がっていくものと思われる。「防災の大切さを伝える」というテーマは、児童の探究心や主体性の素地をはぐくむために良い機会になると考えられる。社会科「健康なくらしをささえる」の学習では命をささえる水の学習をした。千早赤阪村には水源はあるものの、村の全世帯数の配水はまかなえていないこと、実際には多くの世帯が琵琶湖の水によって支えられているということを知ることができた。また理科「地面を流れる水のゆくえ」では、地面にしみこんだ水と私たちのくらしの関係性を知り、千早赤阪村が最も懸念している土砂災害についても危機感をもって考えられる良い機会となった。そんな中で設定したテーマを誰にどのように伝えていくのか、協働的な学びを通して粘り強く探究させたい。この防災学習を通して探究する力、協働する力、人とつながる力、進んで参加する力などを身に付けてほしいと願っている。そのために子どもたちが自ら課題を決め、自らめあてを設定して活動に取り組めるよう指導していきたい。また、児童が調べ、体験して学び得たことを「人に伝える活動」を通してより深い学びに繋げたい。そして、伝える力がつくように「誰に、どのように」「何のために」の視点を常に意識させて取り組ませたい。また、毎回振り返りシートを書かせた。このシートには授業のめあてに加えて、個人目標も書くように促した。そうすることで毎時間、個々にどのような達成があったのかを見取るとともに評価の充実に役立てていきたい。

## 6. 学習の流れ

各学年に年間計画を掲示していますのでそちらをご覧ください。

## 7. 本時の展開

### (1) 本時の目標

防災を広めるにあたって、他教科の学習を活かしたり、組み合わせたりして目的や意図、伝える相手に応じて自分の考えが伝わるよう効果的に表現し、発表する内容を受け取り側に分かりやすく伝えることができる。

【思・判・表④】

### (2) 本時の評価規準と想定される児童の姿

十分満足できる姿	おおむね満足できる姿	支援が必要な姿と支援法
防災祭りの発表内容や企画を、他教科の学習を活かしたり組み合わせたりして、目的や意図、伝える相手に応じて自分の考えが伝わるよう効果的に表現しようとしている。	防災祭りの発表内容や企画を、目的や意図、伝える相手に応じて自分の考えが伝わるよう表現しようとしている。	防災祭りの発表内容や企画に「誰に」「何を」「何のために」「どうやって」の観点があるか、友達や先生と共に確認し、必要であればアドバイスする。

### (3) SE のテーマを意識した本時のめざす子ども像

自分達の発表に対する意見を受け、考え直す場面を通して粘り強く取り組む児童を目指す。

(4) 本時の学習過程 (50/70時間)

時間	学習活動 (○) 研究主題に関わる場面 (◎)	教師の支援 (○) 評価規準及び評価方法 (☆) →その手立て (※)
つかむ7分	1 本時学習の見通しをもつ ○これまでを振り返る ○本時のめあてをもつ	○ 防災祭りのコンセプトを確認し、当日のイメージを広げさせる。
ふかめる20分 いかす18分	<div>【めあて】 ～準備してきたことを分かりやすく発表しよう～  <div>個人目標も書く</div> </div>	○ コンセプトを意識して準備したことや、一番伝えたいこと、祭りではどんなブースを作るかななどを分かりやすく伝えられるように声かけする。
	2 ◎発表・意見交流タイム	○国語「聞いてほしいな、こんな出来事」で学んだことを活かし、話す内容を整理させる。  ※児童からの意見が出ない場合は、よりよい防災祭りを目指し根気強く取り組むために教員から懸念点やアドバイスをし、ゆさぶりをかけて、考え直す場面をつくる。  ○※うなずきながら聞いたり、聞きたいことをメモしたりしながら聞くよう声かけする。
	5 ○振り返りをする 6 ○次時の活動をイメージする	☆他教科の学習を活かしたり、組み合わせたりして目的や意図、伝える相手に応じて自分の考えが伝わるよう効果的に表現する。 【思・判・表】④ (発表や振り返りシート)  ○今回のものを修正して活動していくことを伝える